

平成 19 年 大発会挨拶

新年 あけましておめでとうございます。

平成 19 年の大発会にあたり年頭のご挨拶を申し上げます。

本日は、北海道財務局の竹嶋局長様をはじめ、会員各社の代表者並びに関係各位にご出席いただき、誠に有難うございます。

さて、昨年我が国経済は、民間企業の設備投資や堅調な輸出に支えられて底堅い伸び率を示しており、長期的な景気拡大局面が続いておりました。

道内景気につきましては、個人消費や生産活動は総じて横ばい傾向を示しており、雇用情勢や設備投資がやや上向くなど緩やかな持ち直しの動きが続いておりますが、先行きにつきましては楽観を許さない状況となっております。

そのような背景のもとに株式市場は、年初から春にかけては、国内経済及び企業業績の持続的な回復期待から上昇基調となっておりますが、夏場にかけて急速な円高や米国の景気減速懸念から急落いたしました。

その後、秋頃から年末にかけて米国株高や円安を好感して上昇基調となっております。

当取引所は昨年 6 月から行政当局の検査を受け、9 月に金融庁から業務改善命令を受けましたことは皆様ご高承のとおりであります。

証券取引所は社会的インフラとして重要な責任を担っているわけであり、当取引所ではこのような社会的責任を十分に認識し、直ちに改善が可能な項目からスピード感をもって改善への対応を図っており、証券市場の信頼性確保のため、役職員の意識向上に真摯に取り組んでまいり所存であります。

こうした中で当取引所の昨年 1 年間における売買の実績につきましては、1 株単位で売買されるアンビシャス銘柄の売買が多かったことから売買高は 8 3 6 万株と前年に比べ減少いたしました。売買代金は 3 6 5 億 8 , 0 0 0 万円と、前年に比べ大幅に増加いたしました。

また、新規上場に関しましては、既存の市場におきましては、企業統合による新会社として 9 月 1 日に「DCM Japan ホールディングス株式会社」、9 月 2 9 日に「株式会社ほくやく・竹山ホールディングス」が新規上場いたしました。



(伊藤 理事長)

また、アンビシャス市場には、4月4日に「株式会社エコミック」、5月30日に「健康コーポレーション株式会社」、7月7日に「株式会社ナノテックス」、8月18日には「株式会社イージーユーズ」と昨年中に4社が新規上場いたしました。

昨年11月には、これらアンビシャス上場6社の合同企業説明会をアンビシャスクラブのご協力の下に、東京において投資家向けに開催いたしておりますが、本年1月29日には当取引所におきましてもアンビシャス上場企業の合同説明会を開催する予定であり、また、既存市場の上場会社についても同様なIR活動を企画し呼びかけることとしており、道民の皆様により身近に知っていただきたいと考えております。

当取引所の会員証券会社の異動状況につきましては、昨年中に特定正会員として5社の新規加入があり、現在会員総数は24社に達しております。このように会員証券会社が増加いたしますことは、当取引所の売買活性化と新規上場の促進に寄与されるところが大きいものと期待いたしているところであります。

当取引所は、今後も新規上場の促進、売買の活性化に積極的に取り組んで参りますとともに、自主規制機関として売買審査業務や上場審査業務を更に充実し、当取引所に対する投資家並びに上場企業からの信頼性を高め、北海道経済における資本市場の中核をなす機関としての役割を果たすべく、役職員ともに更なる努力してまいり所存であります。

皆様方におかれましては、本年も旧年に増してご支援ご協力をくださいますようお願い申し上げます。

結びに、我が国並びに北海道経済の着実な発展と、証券市場の一層の活性化を祈念いたしますとともに、本日ご出席の皆様方のご発展とご健勝をお祈りいたしまして大発会のご挨拶といたします。

平成19年1月4日

証券会員制法人 札幌証券取引所

理事長 伊藤 義郎



(大発会の様子)